



新しい運転免許制度がトラック業界に与える影響は大きい。近距離配送の冷凍冷蔵装置やパワーゲートなどを装備した二ト車の大半は、普通免許で運転できなくなってしまう。圧縮天然ガス（CNG）車も同じで、低公害車導入による環境対策の見直しを検討している。

大型、中型とも免許取得に路上試験が導入されるなど、合格へのハードルは高くなるため、ドライバーには改正道路交通法施行前に大型免許の取得を促している。いずれにしても、若いドライバーを中心にとした労働力の確保は困難になるだろう。

今回の免許制度見直しは、安全や環境対策、労働力の確保など解決すべき課題を抱えており、経営に直結する問題だ。国土交通省や警察庁、環境庁など関係行政機関がしっかり連携し、国民はもちろん、トラック業界も受け入れられる新制度にしてほしい。

（永山浩二・福岡ロジテック社長、福岡県糟屋郡粕屋町）

大、中型とも合格のハードル高く